

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬材料・・・ 最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・ 定率法によっている。

建物附属設備・・・ 定率法及び定額法によっている。

什器備品、車輛運搬具・・・ 定率法及び定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・ 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金・・・ 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	-	-	30,000,000
建物	134,958,000	-	4,192,879	130,765,121
小計	164,958,000	-	4,192,879	160,765,121
特定資産				
減価償却引当資産	383,114	-	-	383,114
小計	383,114	-	-	383,114
合計	165,341,114	-	4,192,879	161,148,235

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	-	-
建物	130,765,121	(130,765,121)	-	-
小計	160,765,121	(160,765,121)	-	-
特定資産				
減価償却引当資産	383,114	-	(383,114)	-
小計	383,114	-	(383,114)	-
合計	161,148,235	(160,765,121)	(383,114)	-

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	572,003,288	439,511,163	132,492,125
車輛運搬具	11,875,770	10,945,527	930,243
什器備品	67,577,821	44,955,331	22,622,490
合計	651,456,879	495,412,021	156,044,858

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
受取地方公共 団体補助金	金沢市	373,428	17,536,000	17,333,169	576,259	未払金
合 計		373,428	17,536,000	17,333,169	576,259	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	4,192,879
合 計	4,192,879